

静岡県立清水西高等学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年3月9日(水)

静岡県立清水西高等学校の1・2年生45人が、グローバルハイスクール事業の一環として、人文科学系の施設見学を通じて、地域の魅力や地域課題を再発見し、学ぶ意欲を高めてキャリア形成や進路実現に活かす目的で来所しました。今回は、「発掘調査の概要と県内遺跡」の話、館内見学、土器分類、火起こし体験等、4つの活動をしていただきました。

発掘調査の概要と県内遺跡

はじめに、当センターの役割や業務内容などの説明を受けた後、発掘調査の方法や保存方法の話など、パワーポイントの画面を真剣に見聞きしながらメモをとっていました。



館内見学

展示室1～3及び体験学習室、資料整理室などを見学しました。短時間で

の見学のため、どの部屋もじっくり見る事ができず、説明を聞くだけとなってしまいましたが、大変熱心に説明を聞き、メモをとりながら見学する生徒も見られました。



展示室1～3



体験学習室

土器分類体験

縄文土器や弥生土器、銅鐸、須恵器など、教科書や資料集の写真でしかみたことのない生徒が大部分のようで、館内見学で実物を見て、分類体験で実物に触り、客観的な視点で、厚みや焼き方、文様など具体的に話し合うなど、大変積極的に取り組んでいました。



火起こし体験

小学生の頃やったことがある生徒は若干いましたが、ほとんどの生徒が初めてで、楽しみながら火を起こすことができました。高校生はさすがに体力があるので、

弾み車を勢いよく回し火種を作り、「フーフータイム」も短時間で火を起こすことができました。生徒代表の感想では、「体験をしたことで理解が深まった。」「今まで座学では学んでいたことも、体験することでまた新たに理解することもあった。この経験を活かし、両親の誕生日では、摩擦熱でローソクに火をつけたいと思った。」など、

グローバルハイスクール事業の目的を果たせていたようでした。

